

報道発表資料の配付日時 9月 5日 (火) 15時00分

発表項目 (行事名)	令和4年度(2022年度)北海道観光入込客数調査について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○ 本調査は、令和4年度(2022年度)の観光入込客数や訪日外国人来道者数などを把握し、道の観光振興施策を進める上での基礎資料とするほか、市町村や観光事業者の方々などに広く活用していただくため、作成したものです。</p> <p><配布資料> 「令和4年度(2022年度)北海道観光入込客数調査報告書」</p>		
参考			

報道(取材)に当たってのお願い	○ 道民の皆様や観光関係団体、観光事業者の方々に、幅広く活用していただけますよう、積極的な報道をお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担当 (連絡先)	経済部 観光局 観光振興課 【観光企画】(担当者:宮崎) TEL ダイヤルイン 011-206-6596 内線:26-591		
-------------	--	--	--

北海道観光入込客数調査報告書

令和4年度（2022年度）

令和5年（2023年）9月

北海道経済部観光局観光振興課

北海道観光入込客数調査の内容と留意事項

1 北海道観光入込客数調査について

本調査は、観光庁が定めた「観光入込客統計に関する共通基準」に準じて平成22年度に道が改正した「北海道観光入込客数調査要領」に基づき、観光入込客数などを推計したものです。

2 調査内容

(1) 観光入込客数（実人数）

市町村が行う観光地点等入込客数調査、道が行う観光地点パラメータ調査及び観光庁が提供する宿泊観光入込客数などのデータなどにより推計した北海道における観光入込客の実人数

実人数：1人の観光客が1回の旅行で、5市町村を訪問している場合でも、1人と数えます。

訪日外国人来道者数（実人数）については、日本政府観光局（JNTO）の訪日外客数や訪日外客訪問地調査などにより推計した北海道を訪れた外国人の実人数

(2) 観光入込客数（延べ人数）

各市町村の観光入込客数を集計した観光入込客数の延べ人数

延べ人数：市町村の実人数の単純合計

（1人の観光客が1回の旅行で、5市町村を訪問している場合は、5人と数えます。）

(3) 観光消費額単価

全道16カ所の観光地点における聞き取り調査をもとに、道内客、道外客、外国人について、「観光」、「ビジネス兼観光」別に算出した観光消費額単価

3 利用上の留意事項

各数字は、四捨五入のため合計が合致しない場合があります。

I 観光入込客数（実人数）

1. 概況

令和4年度（2022年度）は新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限が無く、「どうみん割」や「HOKKAIDO LOVE割」による旅行支援の実施や、水際措置の大幅緩和などにより観光需要が増加し、全体で4,229万人（前年比+21.0%、R元年度比▲19.9%）となり、前年度と比べ増加傾向にあるほか、感染拡大前の令和元年度（2019年度）の概ね8割程度まで回復しております。

2. 道内容・道外客

道内容は3,756万人（前年度比522万人増、+16.1%、R元年度比685万人減、▲15.4%）、道外客は404万人（前年度比143万人増、+54.8%、R元年度比188万人減、▲31.8%）となりました。

3. 日帰り客・宿泊客別

日帰り客は2,925万人（前年度比224万人増、+8.3%、R元年度比601万人減、▲17.0%）、宿泊客は1,304万人（前年度比510万人増、+64.2%、R元年度比447万人減、▲25.5%）となりました。

4. 四半期別

四半期別にみると、第1四半期が1,268万人（前年度比309万人増、+32.2%、R元年度比312万人減、▲19.7%）、第2四半期が1,424万人（前年度比179万人増、+14.4%、R元年度比651万人減、▲31.4%）、第3四半期が758万人（前年度比90万人増、+13.0%、R元年度比112万人減、▲12.9%）、第4四半期が779万人（前年度比156万人増、+25.0%、R元年度比26万人増、3.5%）となりました。

<令和4年度(2022年度)観光入込客数(実人数)>

区分		日帰り	宿泊	計	構成比	
第1四半期 (4~6月)	道内容	982万人	215万人	1,197万人	94.4%	
		前年度比	+16.2%	+159.0%		+29.0%
		R元年度比	▲12.0%	▲11.9%		▲12.0%
	道外客	1万人	70万人	71万人	5.6%	
		前年度比	±0.0%	+133.3%		+129.0%
		R元年度比	▲50.0%	▲54.2%		▲54.2%
	外国人	—	0万人	0万人	±0.0%	
		前年度比	—	—		—
		R元年度比	±0.0%	▲100.0%		▲100.0%
	合計	983万人	285万人	1,268万人	100.0%	
		前年度比	+16.2%	+152.2%		+32.2%
		R元年度比	▲12.1%	▲38.3%		▲19.7%
第2四半期 (7~9月)	道内容	1,055万人	232万人	1,287万人	90.4%	
		前年度比	+2.7%	+66.9%		+10.4%
		R元年度比	▲30.7%	▲14.7%		▲28.3%
	道外客	4万人	131万人	135万人	9.5%	
		前年度比	+33.3%	+72.4%		+70.9%
		R元年度比	▲55.6%	▲35.5%		▲36.3%
	外国人	—	2万人	2万人	0.1%	
		前年度比	—	—		—
		R元年度比	—	▲97.1%		▲97.1%
	合計	1,059万人	365万人	1,424万人	100.0%	
		前年度比	+2.8%	+69.8%		+14.4%
		R元年度比	▲30.9%	▲32.8%		▲31.4%
第3四半期 (10~12月)	道内容	428万人	201万人	629万人	83.0%	
		前年度比	+9.2%	+9.8%		+9.4%
		R元年度比	▲2.5%	▲13.4%		▲6.3%
	道外客	5万人	105万人	110万人	14.5%	
		前年度比	±0.0%	+19.3%		+18.3%
		R元年度比	▲16.7%	▲21.6%		▲21.4%
	外国人	—	19万人	19万人	2.5%	
		前年度比	—	—		—
		R元年度比	±0.0%	▲67.8%		▲67.8%
	合計	433万人	325万人	758万人	100.0%	
		前年度比	+9.1%	+19.9%		+13.5%
		R元年度比	▲2.7%	▲23.5%		▲12.9%
第4四半期 (1~3月)	道内容	448万人	195万人	643万人	82.5%	
		前年度比	+5.2%	+40.3%		+13.8%
		R元年度比	+4.4%	+4.8%		+4.6%
	道外客	2万人	86万人	88万人	11.3%	
		前年度比	±0.0%	+53.6%		+51.7%
		R元年度比	±0.0%	+3.6%		+3.5%
	外国人	—	48万人	48万人	6.2%	
		前年度比	—	—		—
		R元年度比	±0.0%	▲9.4%		▲9.4%
	合計	450万人	329万人	779万人	100.0%	
		前年度比	+5.1%	+68.7%		+25.0%
		R元年度比	+4.4%	+2.2%		+3.5%
年度計 (4~3月)	道内容	2,913万人	843万人	3,756万人	88.8%	
		前年度比	+8.3%	+55.0%		+16.1%
		R元年度比	▲16.9%	▲9.7%		▲15.4%
	道外客	12万人	392万人	404万人	9.6%	
		前年度比	+9.1%	+56.8%		+54.8%
		R元年度比	▲36.8%	▲31.6%		▲31.8%
	外国人	—	69万人	69万人	1.6%	
		前年度比	—	—		—
		R元年度比	—	▲71.7%		▲71.7%
	合計	2,925万人	1,304万人	4,229万人	100.0%	
		前年度比	+8.3%	+64.2%		+21.0%
		R元年度比	▲17.0%	▲25.5%		▲19.9%

※数値は端数処理の関係上、合計等が合致しない場合があります。

5 訪日外国人来道者数（実人数）

（1）概 況

訪日外国人来道者については、新型コロナウイルス感染症の影響で強化されていた国の水際対策が段階的に緩和され、令和4年6月には添乗員付きツアーの国内受入が開始し、10月からは個人旅行の受入や査証免除措置の再開のほか、海外からの本道への直行便が徐々に再開したことにより、令和4年度は約69万人になりました。

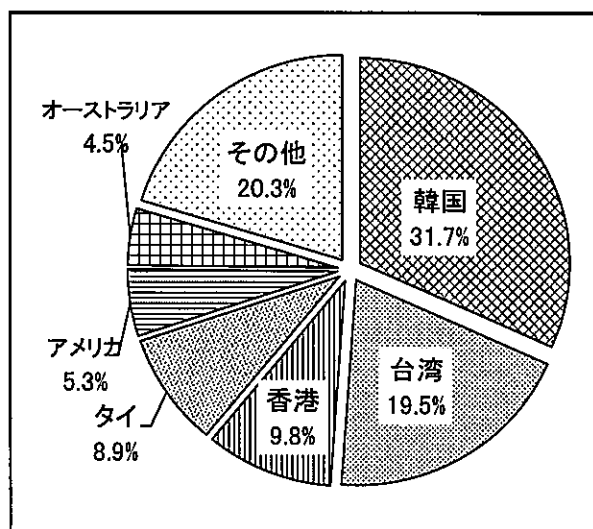
（2）国・地域別

本道観光の主要市場であるアジア地域からの来道者は57万4,400人となり、R元年度と比べると73.1%減少しています。

国・地域別で見ると、韓国が21万8,900人と最も多く、次いで、台湾が13万4,400人、香港が6万7,800人、タイが6万1,700人、アメリカが3万6,600人、オーストラリアが3万900人となっています。

〈令和4年度(2022年度)訪日外国人来道者数(実人数)〉

国・地域		通年 (第1～第4四半期)
		来道者数
アジア	韓国	218,900人
	台湾	134,400人
	香港	67,800人
	タイ	61,700人
	マレーシア	27,800人
	シンガポール	24,000人
	中国	21,900人
	インドネシア	6,800人
	フィリピン	6,100人
アメリカ		36,600人
カナダ		7,400人
オーストラリア		30,900人
その他		47,900人
合計		692,200人



Ⅱ 観光入込客数（延べ人数）

1 総数

市町村における観光入込客数を合計した総数(延べ人数)は、12,230万人で、前年度に比べて43.4%増加し、コロナ前のR元年度に比べると15.0%減少となりました。

また、宿泊客延べ数の合計は、3,199万人泊で、前年度に比べて71.7%増加しましたが、R元年度に比べて11.6%減少となりました。

2 圏域別

圏域別の観光入込客数(延べ人数)及び宿泊客延べ数を見ると、令和4年度は新型コロナウイルス感染症に係る行動制限が無く、旅行需要の回復が見られたことから、全道域では前年度と比べて大幅に増加しているほか、コロナ前のR元年度の水準に近づいています。

多くの市町村において、これまで中止を余儀なくされてきた各種イベントが再開したことにより観光入込客数が増えたほか、近年のアウトドアブームによるキャンプ場利用者の増加、また、複数の市町村においては、前年度に引き続き独自の宿泊助成事業を実施するなど、観光客の増加が見られました。

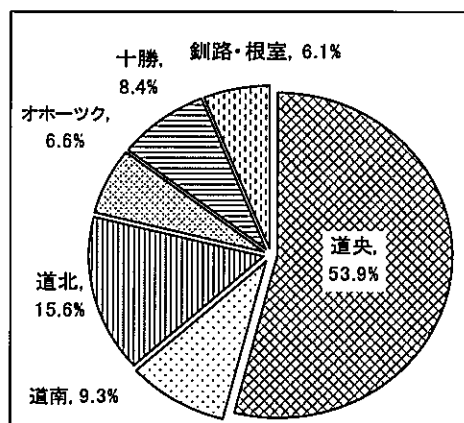
なお、各圏域の観光入込客数の特徴は次のとおりです。

道 央 圏	3年ぶりにリアル開催した雪まつり(札幌市)やガーデンフェスタ北海道(恵庭市)など大型イベントの実施や各地での主要イベントの再開、管内スキーリゾートへの旅行者の増加、「サッポロ割り」など旅行支援事業の実施などにより、観光客の入込が好調であったことから、圏域では前年度比45.5%増となりました。
道 南 圏	函館江差自動車道木古内IC開通に伴う周辺「道の駅」への来場者増加や、江差追分全国大会(江差町)、マグロまつり(松前町)、もりまち桜まつり(森町)など各種イベントの再開、「はこだて割り」等旅行支援の実施など、観光客の入込が好調であったことから、圏域では前年度比29.7%増となりました。
道 北 圏	アウトドアブームによる管内キャンプ場の入込客数の増加や野外イベントの再開前年度閉鎖していた管内全ての海水浴場の開設(留萌管内)、バスを利用した団体ツアーの受入拡大など、観光客の入込が好調であったことから、圏域では前年度比53.9%増となりました。
オホーツク圏	知床沖海難事故の影響により一部、観光入込に影響があったものの、各地で観光イベントが開催されたことや、女満別空港(大空町)の利用状況が対前年度対比で56.8%増加、紋別空港(紋別市)も37.4%増加したことから、圏域では前年度比33.9%増となりました。
十 勝 圏	昨年度まで中止していたイベントやスポーツ大会が通常開催されたことや、令和4年4月にリニューアルオープンした「道の駅おとふけ」や隣接施設による観光客の入込が好調だったことなどから圏域では前年比44.7%増となりました。
釧路・根室圏	知床沖海難事故の影響により一部、観光入込に影響があったものの、3年ぶりに開催した牡蠣まつり(厚岸町)など各種イベントの再開や、4月に「まちの駅サーモンプラザ」がオープンするなど、観光客の入込が好調であったことから、圏域では前年度比32.8%増となりました。

〈圏域別観光入込客数(延べ人数)〉

圏域	観光入込客数	前年度比	対前年増減数	R元年度比	対R元年度増減数	構成比
道央	6,596万人	+45.5%	+2,062万人	▲16.4%	▲1,298万人	53.9%
道南	1,136万人	+29.7%	+260万人	▲14.0%	▲186万人	9.3%
道北	1,912万人	+53.9%	+669万人	▲15.4%	▲348万人	15.6%
オホーツク	808万人	+33.9%	+205万人	▲7.7%	▲67万人	6.6%
十勝	1,029万人	+44.7%	+318万人	+0.2%	+2万人	8.4%
釧路・根室	749万人	+32.8%	+185万人	▲25.9%	▲262万人	6.1%
合計	12,230万人	+43.4%	+3,699万人	▲15.0%	▲2,158万人	100.0%

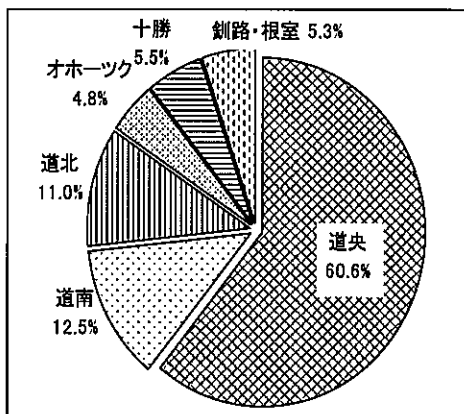
※各数値は、千人単位で四捨五入しているため合計が合致しない場合があります。



〈圏域別宿泊客延べ数〉

圏域	宿泊客延べ数	前年度比	対前年増減数	R元年度比	対R元年度増減数	構成比
道央	1,943万人泊	+90.7%	+924万人泊	▲9.9%	▲214万人泊	60.7%
道南	401万人泊	+66.2%	+160万人泊	▲8.9%	▲39万人泊	12.5%
道北	354万人泊	+55.6%	+126万人泊	▲18.5%	▲80万人泊	11.1%
オホーツク	153万人泊	+26.1%	+32万人泊	▲13.0%	▲23万人泊	4.8%
十勝	177万人泊	+26.8%	+37万人泊	▲15.6%	▲33万人泊	5.5%
釧路・根室	171万人泊	+50.0%	+57万人泊	▲15.8%	▲32万人泊	5.3%
全道	3,199万人泊	+71.7%	+1,336万人泊	▲11.6%	▲421万人泊	100.0%

※各数値は、千人単位で四捨五入しているため合計が合致しない場合があります。



3 市町村別

観光入込客数を市町村別で見ると、札幌市が1,311万人（前年度比+67.1%、R元年度比▲14.1%）で最も多く、次いで、函館市455万人（前年度比+31.3%、R元年度比▲15.3%）、旭川市414万人（前年度比+158.2%、R元年度比▲18.6%）、以下小樽市、釧路市、音更町の順となっています。

一方、宿泊客延べ数で見ると、札幌市が1,299万人泊（前年度比+107.2%、R元年度比▲7.1%）で最も多く、次いで、函館市353万人泊（前年度比+73.0%、R元年度比▲7.7%）、釧路市125万人泊（前年度比+65.7%、R元年度比▲15.6%）、以下、帯広市、小樽市、登別市の順となっています。

<観光入込客数(実人数)の多い市町村>

順位	市町村名	入込客数	前年度比	R元年度比
1	札幌市	1,311万人	+67.1%	▲14.1%
2	函館市	455万人	+31.3%	▲15.3%
3	旭川市	414万人	+158.2%	▲18.6%
4	小樽市	407万人	+52.9%	▲41.9%
5	釧路市	381万人	+38.3%	▲28.2%
6	音更町	256万人	+185.4%	+80.0%
7	登別市	234万人	+94.7%	▲27.8%
8	喜茂別町	230万人	+41.6%	▲5.7%
9	白老町	220万人	+30.8%	+37.9%
10	苫小牧市	213万人	+43.8%	▲4.2%
11	恵庭市	201万人	+38.4%	+44.6%
12	石狩市	199万人	+4.6%	▲9.2%
13	洞爺湖町	195万人	+78.8%	▲18.8%
14	長沼町	186万人	+82.3%	+83.6%
15	七飯町	186万人	+32.1%	▲18.0%
16	帯広市	183万人	+32.3%	▲35.1%
17	美瑛町	182万人	+71.3%	▲24.8%
18	千歳市	175万人	+39.8%	▲61.6%
19	富良野市	163万人	+44.5%	▲13.8%
20	当別町	163万人	+57.4%	+30.8%

<宿泊客延べ数の多い市町村>

順位	市町村名	宿泊客延べ数	前年度比	R元年度比
1	札幌市	1,299万人泊	+107.2%	▲7.1%
2	函館市	353万人泊	+73.0%	▲7.7%
3	釧路市	125万人泊	+65.7%	▲15.6%
4	帯広市	104万人泊	+12.5%	▲12.5%
5	小樽市	88万人泊	+85.3%	▲6.4%
6	登別市	88万人泊	+102.9%	▲17.8%
7	倶知安町	68万人泊	+125.5%	▲40.8%
8	旭川市	67万人泊	+77.3%	▲25.7%
9	北見市	58万人泊	+28.9%	▲9.8%
10	富良野市	57万人泊	+91.7%	▲9.5%
11	占冠村	56万人泊	+89.2%	▲6.1%
12	二セコ町	55万人泊	+64.0%	+16.4%
13	洞爺湖町	46万人泊	+88.5%	▲28.1%
14	室蘭市	42万人泊	+76.5%	+27.0%
15	網走市	38万人泊	+31.6%	▲11.1%
16	留寿都村	34万人泊	+84.4%	▲1.1%
17	稚内市	33万人泊	+21.5%	▲9.0%
18	音更町	33万人泊	+47.9%	▲20.2%
19	千歳市	33万人泊	+53.0%	▲6.0%
20	上川町	32万人泊	+112.1%	▲38.2%

Ⅲ 観光消費額単価

＜令和4年度(2022年度) 観光消費額単価＞

(単位:円)

区 分		日帰り	宿泊	
第1 四半期 (4～6月)	道 内 客	観光	4,411 (4,641)	18,603 (19,722)
		ビジネス兼観光	8,207 (7,655)	31,454 (31,264)
	道 外 客	観光	21,786 (21,317)	74,009 (54,704)
		ビジネス兼観光	7,939 (5,700)	59,973 (84,469)
	外 国 人	観光	— (—)	— (—)
		ビジネス兼観光	— (—)	— (—)
第2 四半期 (7～9月)	道 内 客	観光	4,430 (4,628)	22,503 (26,112)
		ビジネス兼観光	18,540 (14,914)	33,332 (24,786)
	道 外 客	観光	11,943 (17,357)	111,735 (87,393)
		ビジネス兼観光	7,470 (6,388)	79,547 (78,692)
	外 国 人	観光	— (—)	— (—)
		ビジネス兼観光	— (—)	— (—)
第3 四半期 (10～12月)	道 内 客	観光	5,411 (3,891)	26,504 (20,495)
		ビジネス兼観光	6,861 (13,707)	28,152 (30,160)
	道 外 客	観光	11,138 (41,542)	65,663 (63,530)
		ビジネス兼観光	8,316 (6,458)	71,626 (92,887)
	外 国 人	観光	— (—)	94,143 (—)
		ビジネス兼観光	— (—)	— (—)
第4 四半期 (1～3月)	道 内 客	観光	4,666 (3,302)	25,118 (26,921)
		ビジネス兼観光	6,957 (8,145)	28,078 (28,209)
	道 外 客	観光	36,000 (18,392)	77,545 (56,439)
		ビジネス兼観光	8,542 (6,730)	64,984 (34,961)
	外 国 人	観光	— (—)	165,477 (—)
		ビジネス兼観光	— (—)	— (—)

道内16の観光地点において実施した聞き取り調査により算出した観光消費額単価は、下表のとおりとなっています。

※ () 内の数値は、前年度の単価です。

道内容、道外客、外国人客の「ビジネス兼観光」及び外国人の単価は、観光庁から提供された値を掲載しています。

北海道観光入込客数調査報告書 [令和4年度 (2022年度)]

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/irikomi.html>

令和4年(2023年)9月

北海道経済部観光局観光振興課(観光企画)

札幌市中央区北3条西6丁目

電話番号(代表)011-231-4111 内線 26-591

(直通)011-206-6596

FAX番号(直通)011-232-4120
